

別紙様式3

平成29年度 第2回 地域連携による活力ある高校づくり推進事業協議会 議事要旨

日 時	平成30年 2月22日 (木) 15:30~16:50
場 所	八百津町ファミリーセンター 講義室
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <p>浅野 知子 八百津高校を育てる会 (八百津東部中学校校長)</p> <p>安藤 充優 八百津高校を育てる会 (八百津中学校校長)</p> <p>臼田 篤志 八百津町商工会</p> <p>加藤 大博 岐阜県議会議員</p> <p>神谷 一久 八百津高校学校評議員 (神谷技研社長)</p> <p>榎間 誠 錦津小学校長</p> <p>林 善次 八百津高校を育てる会 (八百津高校同窓会長)</p> <p>堀部 義郎 八百津高校を育てる会 (八百津町教育長)</p> <p>水野 信治 八百津高校PTA会長</p> <p>(高校)</p> <p>居波 裕 校長</p> <p>亀谷 信幸 教頭</p> <p>三宅 克典 事務長</p> <p>兼松 義治 教務主任</p> <p>志比 顕秀 進路指導主事</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>石原 康秀 教育総務課 課長補佐</p>
議事概要	<p>1 事業についての学校からの説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業報告など <p>2 デュアルシステムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の成果発表会に参加できなかったが、終了後にすれ違った生徒の様子を見ると、活発で良い発表だったと想像する。成果発表会のことを是非外へアピールして欲しい。直接参観してもらうことは重要なことである。平日行事のため多くの人に見ていただくことは無理かもしれないが、チラシを利用して広報活動をさらにして欲しい。予備校にも置いたらどうか。 ・ デュアルシステムの成果発表会に参加するのは今年で2回目。コミュニケーション能力の向上を目標とする生徒が多かったが、日頃の挨拶の様子などからすると十分にコミュニケーション能力はあると感じる。また、以前の生徒と比べるとその能力には格段の差がある。来年度はデュアルシステムに取り組む生徒の人数が増えてうれしく思う。 ・ 成果発表会の司会を務めた生徒が、以前の中学校出身者であった。コミュニケーションが苦手であったが、高校で頑張っている様子を見ることができて本当に大切に高校で育ててもらっていると思い、感無量であった。その他の生徒についても、様々な生徒が部活動や様々な活動を通して、愛して育ててもらっていることが発表に表れていた。 <p>今回の成果発表会を休日開催にしてもらえると多くの参観者になるのではないか。他校では、学習成果発表会を休日に実施して、中学生も多く参観していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成果発表会のあの場であれだけの発表ができることは正直立派なことである。実習を通じて成長していることが、発表を聞いて伝わってきた。地元企業と連携をとることはとてもありがたい。是非協力しようという声があがってくると考える。職場に持ち帰って話したい。他の生徒に対してこの取り組みが、どのような影響を与えているか、そしてこの成果発表会に対する他の生徒の反応も気になるところである。

生徒の発表について、写真だけでなく動画を使用するのも考えて欲しい。そうすれば、他の生徒がもっと興味をもってくれるのではないか。

- ・今年度、デュアルシステムに取り組む生徒の人数が減ったことを心配していたが、増えてよかった。普通科高校でありながら専門高校のように就職支援もしなければならない学校にとって、このシステムは大切である。人は最終的には、仕事に就くので、この実習はよい体験だと思う。このデュアルシステムで、最終的に生徒に自信がつくのは、本日の成果発表会だと考える。人の前に立って話すことは自信に繋がる。今日が一番大切な日、人前に立って話すことは、絶対に役に立つと思う。来年度は実習者数が20人に増えるが、もっともっとアピールして欲しい。就職試験の面接に堂々と話すことができると思う。
- ・本日の発表会を参観して、彼らのデュアルシステムでの成長が大きいと感じた。司会の女子生徒は昨年のデュアル体験者であるが、本当に立派に司会を務めていた。先生方が、八百津高校の3年間で人間能力の形成に心血を注いでいると感じた。ここまでよく成長するものだと感じた。
- ・デュアルシステムに興味ある生徒が連携中学校では多く存在する。地元で頑張りたいと思っている生徒が希望している。デュアルシステムについての広報活動が少しずつ浸透しているのではないか。規模の大きな地区の中学校へももっとアピールして欲しい。
- ・成果発表会の座談会での八百津高校卒業生の素直な発表者の言葉は心に響いた。高校生の皆さんにも入っていく言葉であり飾り気のない言葉であった。

3. その他

- ・八百津高校が地元の町の活動に積極的に取り組んでいることに感謝している。特に、小学校の土曜学校のリトルティーチャー、高齢者とのグランドゴルフ大会、産業文化祭への参加など地域町民の心の潤い、生きがいや心の支えになっている。「魅力ある高校づくり」のために一生懸命に取り組んでいることがよくわかる。それと同時に連携中学校2校の努力と協力もある。地域の人からは、八百津高校の良い評判を聞くことが多い。先生方の面倒見がよいことや、温かみがあること、いじめが少ないことなど。町をあげての人道教育に協力していることが理解できる。高校の生き残りで一番大切なことは、入学定員を埋めることである。連携方中高一貫教育とデュアルシステムを柱に頑張ってもらいたい。来年度、コミュニティスクールになると聞かすが、地域で子供を育てるモデルを示して欲しい。
- ・保護者へのアンケート結果から、「体罰がない学校」「学校職員の対応が適切である」の項目で特に高い評価となっている。確かにいつも笑顔でどの先生方も対応してくれる。
- ・八百津高校と町内の小中学校の目指しているベクトルが重なっている。人間関係形成能力・人道教育やふるさと教育など地元を大切にするとところなど町内での連携をさらに深めていきたい。これからも高校との関係を大事にしていきたい。
- ・八百津祭りに高校生が参加し手伝ってくれるのは、とても有り難く感じる。久田見祭りも見学してもらえれば有り難い。
- ・今年度は、学校報「いま八百津高校では」が数多く発行され回覧板に回っている。学校の取り組みについてよく伝わっている状態になっている。一町民として読むことを楽しみにしている。進学希望者への指導、特に保育士や看護師志望者の進路先の確保をお願いしたい。
- ・八百津高校のキャッチコピーである「自分を変えられる学校」はマイナスイメージを持たれないか。「自分の可能性が実現できる学校」「まだ見ぬ自分にあえる学校」「さらに自分を変えられる学校」など、来年度に向けて考えて欲しい。